

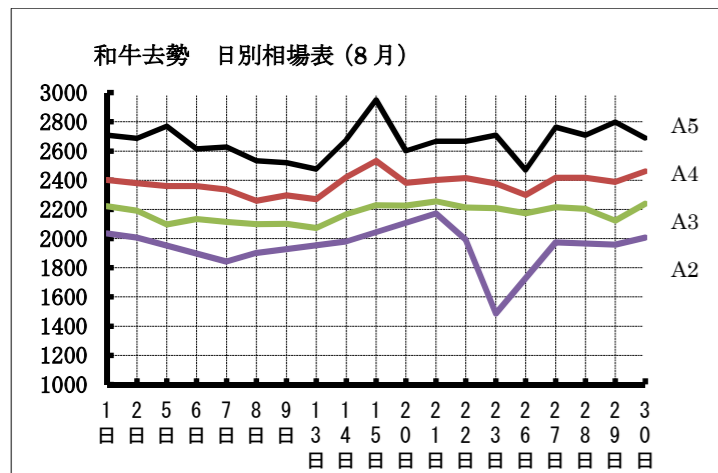
月刊しばうら

2019年9月号

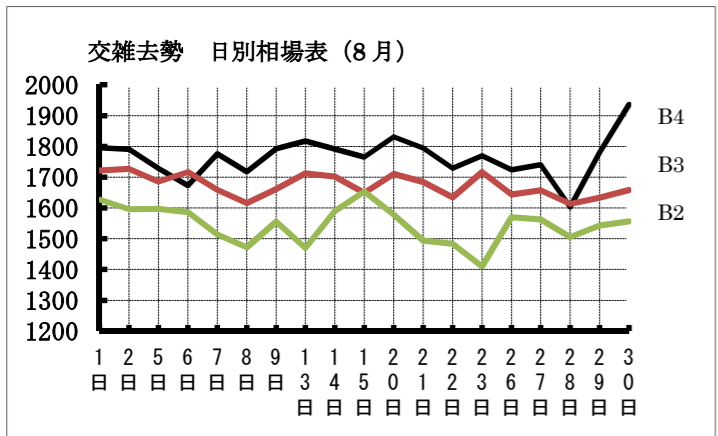
大動物事業部

<8月の相場動向>

和牛去勢 A5 が前月比 80 円安の 2,673 円(前年同月比 122 円安)、A4 が同 39 円安の 2,376 円(同 70 円安)、A3 が同 45 円安の 2,175 円(同 33 円安)、A2 が同 27 円安の 1,939 円(同 35 円安)となり、交雑牛去勢は B4 が前月比 19 円安の 1,767 円(前年同月比 79 円高)、B3 が同 27 円高の 1,680 円(同 122 円高)、B2 が同 7 円高の 1,536 円(同 147 円高)、乳牛去勢は B2 で前月比 6 円安の 927 円(前年同月比 30 円安)となった。和牛は旧盆商戦も不発となり在庫を抱える企業も多く前月比・前年同月比ともに全面安の展開となった。交雑牛は全国的な出荷頭数の減少傾向により、4 等級などが多少弱含んだものの、全体的には依然として高値圏を維持している。



A5	2,673 円	(前年同月比 95.6%)	(前月比 97.1%)
A4	2,376 円	(" 97.1%)	(" 98.4%)
A3	2,175 円	(" 98.5%)	(" 98.0%)
A2	1,939 円	(" 98.2%)	(" 98.6%)



B4	1,767 円	(前年同月比 104.7%)	(前月比 98.9%)
B3	1,680 円	(" 107.8%)	(" 101.6%)
B2	1,536 円	(" 110.6%)	(" 100.5%)

B3	なし		
B2	927 円	(前年同月比 96.9%)	(前月比 99.4%)

<9月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した輸入通関実績によると、7月の牛肉輸入量は前年同月比 4.6%減の 6 万 2,541 t と前年を下回る輸入量だった。内訳としてチルドが同 5.7%増の 2 万 7,437 t となり、前月からも 6,090 t 増加。フローズンは前月から 9,000 t 強増え 3 万 5,103 t となったが、前年が 4 万 t 近い輸入量だった反動により前年比 11.3%の減少となった。

農畜産業振興機構の予測によると、9月の牛肉輸入数量は、前年比 0.7%減の 5 万 1,900 t で、チルドは同 7.4%増の 2 万 2,300 t、フローズンは同 5.9%減の 2 万 9,600 t としている。9月の出回り量は 1.2%減の 7 万 7,000 t、推定月末在庫は前年比 120%台の急増傾向と予測される。

	7月	前年同月	前年同月比	
チルド	豪州	12,240	11,366	107.7%
	米国	12,842	13,273	96.8%
	その他	2,355	1,325	177.7%
	合計	27,437	25,964	105.7%
フローズン	豪州	17,544	20,399	86.0%
	米国	11,764	14,914	78.9%
	その他	5,795	4,280	135.4%
	合計	35,103	39,593	88.7%

単位：t 出典：食肉速報

<9月の全国出荷頭数予測>

家畜改良センターの発表による 7 月末現在の全国の飼養頭数は 385 万 3,848 頭(前年同月比 0.3%増)となり、前月比で約 1 万 2,000 頭の減少となっている。黒毛和種は 165 万 9,411 頭(同 1.4%増)で前月比約 1 万 1,000 頭の減、交雑種は 49 万 842 頭(同 3.6%減)で前月を約 2,700 頭下回った。ホルスタイン種雄(去勢)は前月比で 750 頭減少し、雌は 2,700 頭増加している。また、牛飼養施設数は 5 万 8,439 カ所(同 3.7%減)となり引き続き減少を続けている状況となっている。

農畜産業振興機構による 9 月の成牛の出荷頭数予測では、前年比 3.7%増の 8 万 5,000 頭で、品種別にみると和牛は同 9.7%増の 3 万 7,100 頭、交雑種は同 1.4%減の 1 万 9,000 頭、乳用種は同 0.5%減の 2 万 7,400 頭としている。引き続き和牛の出荷頭数は増加、交雑種・乳用種は減少傾向となっている。東京食肉市場の 9 月と畜頭数は 6,700 頭を予定しています。

<9月の牛枝肉相場見通し>

9 月の枝肉相場の見通しは、国内消費が低迷しているなかでの 10 月からの増税がどの程度影響するかにもよるが、2 週続けての 3 連休や量販店による産地フェアも多くなる時期であるため、ブランド牛を中心に引き合いが多くなるものと見込まれる。また軽減税率の対象外となる外食においても駆け込み需要に期待したい。しかしながら和牛は現状で在庫も多く、相場が上昇するほどとは考えにくくもちあいか。交雑牛については引き続き出荷頭数が減少傾向にあり堅調に推移するものと思われる。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,600~2,700	B4	1,700~1,800
A4	2,300~2,400	B3	1,600~1,700
A3	2,150~2,250	B2	1,500~1,600
A2	1,900~2,000		
乳牛去勢			
B3	1,050~1,150		
B2	1,000~1,100		

小動物事業部

7 月の全国と畜頭数は、前年同月比 6.9%増の 136 万 1,309 頭と前年より増加した。また、7 月の豚肉通関数量は、8 万 5,388t(前年同月比 9.3%増)と前年同月を上回り、前月比でも約 9,000t の増加となった。内訳はチルドが 3 万 5,993 t(10.8%増)と 2 ケタ伸び、フローズンは 4 万 9,395t(8.1%増)と増加している。

月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
7	68,709	78,084	17,332	158,705	68,762	80,466
8	70,135	79,654	18,182	157,848	69,223	80,511
9	67,675	68,972	18,048	149,511	67,772	77,309
10	82,053	83,979	18,178	147,729	81,863	85,761
11	82,254	83,346	18,435	144,982	81,925	86,093
12	79,338	73,146	19,394	140,967	78,307	77,161
1	79,477	61,703	19,643	144,246	79,203	58,424
2	75,590	81,638	19,818	147,097	72,334	78,787
3	74,058	68,303	21,221	145,268	72,588	70,432
4	77,788	98,235	22,544	167,222	76,406	76,281
5	75,254	84,396	21,643	184,963	76,085	66,655
6	67,048	76,246	23,332	183,952	65,290	77,257
7	74,899	83,315	21,828	192,531	76,348	76,736
比	109%	109%	125%	121%	111%	95%

比：最終月の前年同期比 出典：農畜産業振興機構 単位：t、%

国名	単位：t、%				
	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	18,392	109.6	デンマーク	8,445	77.0
カナダ	16,658	113.6	スペイン	12,571	122.7
メキシコ	941	91.3	メキシコ	8,516	146.2
			アメリカ	4,446	104.2
			カナダ	3,503	90.5
合計	35,993	110.8		49,395	108.1

<8月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	61,100	500	487	634
2日	60,000	542	515	841
5日	62,800	511	504	640
6日	65,100	625	622	828
7日	63,900	571	548	706
8日	66,200	572	552	668
9日	62,100	597	562	882
平均	63,028/日			742/日

全国と畜頭数は 6 万頭台で安定しているが、全国的に猛暑が続いていることから豚の成育にも影響を受けている。相場は 6 日には一時的に上物価格 600 円台に跳ね上がった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
13日	42,900	538	498	647
14日	30,100	566	541	860
15日		551	549	876
20日	64,400	677	665	860
21日	63,300	586	556	695
22日	64,600	542	523	735
平均	53,060/日			778/日

台風の影響もあり、期待していた行楽需要とまではなっていない。引き続き末端需要は鈍い状況にあり、特にスソ物、バラは引き合いが弱く凍結在庫が増加している。一方で、コース、カタロースはそれなりに動き始めている。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
23日	62,200	528	515	886
26日	60,600	509	492	722
27日	64,300	567	541	733
28日	57,300	551	540	655
29日	63,500	540	519	640
30日	59,900	531	504	1,000
平均	61,300/日			722/日

全体的に荷動きは良化傾向にあり、引き続きカタロースの引き合いは強い。また、学校給食の再開もあり、スソ物も少しずつ引き合いは増えている。

<9月の豚枝肉相場見通し>

農林水産省による 9 月の肉豚出荷予測では 129 万 5,000 頭(前年比 103%)と予測している。前年同月比 3%増としているが、9 月としては 2 年連続で 130 万頭を割る見込み。当市場の 9 月集荷予定頭数は 1 万 6,000 頭、1 日あたりでは約 842 頭を見込んでいる。

農畜産業振興機構によると 9 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 7 万 3,400t(同 106.4%)、内訳はチルドが 3 万 1,700t(同 104.2%)、フローズンは 4 万 1,700t(同 108.2%)と予測。

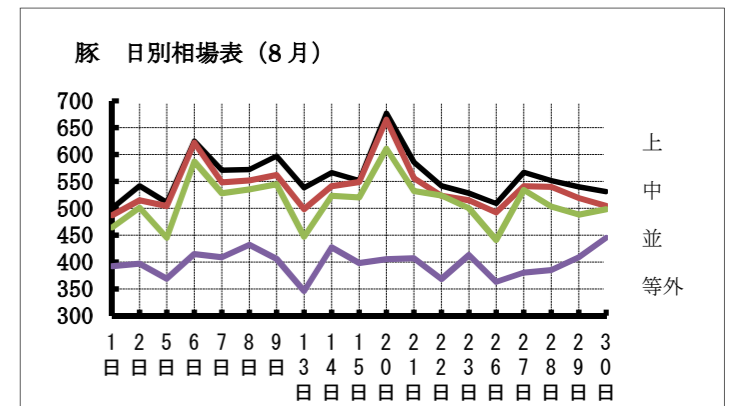
冷蔵輸入量は、前年の台風 21 号に伴う倉庫の浸水被害や、通関の遅延により前年同月の輸入量が少なかったことなどから前年同月をやや上回ると予測する。なお、3 カ月平均では、前年同期並みと予測する。

冷凍品輸入量は、先高感による輸入量の増加に加え、冷蔵品と同様前年同月の輸入量が少なかったことから、前年同月を大きく上回ると予測する。なお、3 カ月平均では、前年同月をやや上回ると予測する。

9 月は 3 連休が 2 週連続であるだけに、長梅雨で不調だった夏の行楽需要を取り戻す動きが期待されるが、消費税増税を間近に控えていることもあり、消費者の動きにも注目される。

出荷頭数は猛暑が続く前半は少なめで推移し、朝晩の気温が低下してくる彼岸以降は大きく増えてくることから、例年のパターンとなれば後半にかけて相場は下落傾向となると予測する。

以上のことから当市場の上物。平均価格は 500 円前後、中物平均価格 480 円前後の展開と予測する。



第 59 回農林水産祭参加令和元年度東京食肉市場豚枝肉共励会が 8 月 28 日～8 月 30 日に開催された。

出荷者、購買者の皆様及び関係各位の方々のご協力ありがとうございました。

東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>

